

鉄・鉄製品

- 門扉 ●フェンス ●シャッター
- 物置 ●ガーデンチェア ●遊具 など

塗装方法



油性塗料と水性塗料の違い



油性

サビに強く
耐久力が高い

- 臭い 強い
- 乾燥 遅い
- うすめ液 ペイント
うすめ液

鉄部・鉄製品のサビに強く『耐久力』が高い!

- 臭いが強く、乾きが遅いので室内の塗装には不向き

水性

女性・初心者にも
使いやすい

- 臭い 少ない
- 乾燥 速い
- うすめ液 水



臭いが少なく、乾きが速く、後始末も簡単!

- 水性塗料も油性塗料と同じように乾くと塗膜ができるので、絵の具のように雨で流れ落ちることはあります。

手についても
すぐ洗い流せる

耐久力を重視するなら油性塗料を、臭い・乾燥時間など作業性を重視するなら水性塗料、手軽に済ませたいならスプレーがオススメです。用途に合わせて最適な塗料を選びましょう。

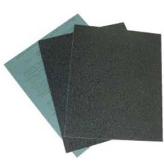
必要な用具・塗料

汚れ・古い塗膜の除去



皮スキ

ワイヤーブラシ



サンドペーパー



布(ウエス)



マスキングテープ



ポリマスカー



新聞紙

養生(マスキング)

サビ止め塗料



サビ止め塗料

塗装

塗装する場所にあった用具・サイズを選びましょう。



刷毛



スキマ用
ベンダー



ローラー



受け皿

鉄製フェンス塗装方法

塗膜のはがれ・サビが目立ちはじめる前に
3~5年間隔でメンテナンスしましょう！



Before

「塗膜のはがれ」「サビ」が
目立ち塗装が必要です。



After

「塗膜のはがれ」「サビ」がなくなり
すっきりしました。

1 下地の調整

汚れの除去



泥・コケ・藻などの表面の汚れは、
タワシやデッキブラシなどで落とし、
水洗いした場合は、布(ウエス)で拭き取るなどして充分に乾燥させます。

古い塗膜・サビの除去



古い塗膜がはがれかけていたり、サビが発生している所は皮スキかワイヤーブラシで落とします。塗膜・サビを落とした後の粉を布(ウエス)で拭き取ります。



!
広範囲に塗膜の
はがれ、サビが発
生している時は
ディスクサンダー
が便利です。

Before



After

下地の鉄が見えるほど
しっかり落とします。

Point

塗装前の下地の調整が塗装成功の大きなポイントです。

下地の状態をしっかり見極め、適切な処理を行いましょう！

2 養生(マスキング)



塗ってはいけない部分や境目をマスキングテープや
ポリマスカーでカバーします。塗料が落ちたりハネたり
しますので床面にポリマスカー・ポリシート・新聞紙
を広範囲に敷き詰めておきます。

ポリマスカー

テープとポリシートが一体となっており
一度に広範囲の養生ができます。



塗料をかき混ぜる

塗料は、そのまま使うと顔料が塗料の
底に沈んでいますので、使用前に
充分かき混ぜます。

缶を開ける前に、缶を逆さにしてゆすり、
開けてから底まで充分にかき混ぜます。

塗料をうすめる

塗料の粘度があがり、ネバネバして塗りにく
い時には、**水性なら水、油性ならペイント
うすめ液**を、塗料に対し、5%ぐらいまで
加え、よくかき混ぜてから使います。

!
塗料のうすめ過ぎは塗装不良の原因と
なりますのでご注意ください。

3 サビ止め(下塗り)を塗る サビ止め塗料を充分に丁寧に塗る事が耐久力UPの必須条件です。



サビを落とした部分にサビ止め塗料を塗ります。サビがひどい部分は防サビ効果を高める為に、2回塗り重ねる事をオススメします。



入り組んだ部分、凹凸の多い部分はスプレー塗装が便利です

スプレーはミストが飛散しますので広範囲のマスキングが必要です。

▶ Point

充分乾燥させてから上塗り塗料を塗りましょう。

塗り重ねの間隔は各塗料・気温によって異なりますので表記を確認の上、充分な間隔をとって上塗りを行いましょう。

4 上塗り塗料を塗る

細かい部分は刷毛で塗装



塗る塗料にあった種類、塗る部分にあつたサイズの刷毛を選びましょう。

刷毛が入りにくい狭い部分はスキマ用ベンダーで塗装



▶ 塗装豆知識

正しい刷毛の使い方

①

新しい刷毛を使用する前には良く揉みほぐし、抜け掛けた毛を取り除きます。

②

鉛筆を持つように柄の中心よりやや上を持ち、軽く握り、ひじや手首にあまり力を入れずに動かします。

③

毛先の3分の2くらいまでムラなく塗料を含ませ、容器のチフで充分に塗料をして余分な塗料を落とします。

広い平面や網目はローラーで塗装

塗る部分にあったサイズのローラーを選びましょう。

※スチールローラー/中毛4インチを使用



受け皿にビニール袋をかぶせて使用すると後片付けが簡単です。

▶ Point

1度に厚塗りで仕上げるより、2度に分けて薄めに塗りましょう。

塗り重ねる方がムラなく美しい仕上がりになります。1回目が充分乾燥してから2回目を塗りましょう。

用具の後始末



使い終えた用具は新聞紙や布などで拭き取り、水性塗料は水、油性塗料はペイントうすめ液で洗い、陰干し後、保管します。



残った塗料の処理

残塗料処理剤

塗料が少量残った場合には、塗料をオカラ状に固めて捨てる事が出来る「残塗料処理剤」がおすすめです。残塗料処理剤は水性、油性塗料を選ばず、入れてかき混ぜるだけで固める事ができます。

あつ!
という間に固めて
ポイ!



鉄製ガーデンチェア 塗装方法

※裏面「鉄製フェンスの塗装方法」と
合わせてご覧下さい。



Before

「塗膜のはがれ」「サビ」が目立ち塗装が必要です。

1 下地の調整

汚れの除去



泥などの汚れは、布(ウエス)で落とします。水拭きした場合は充分に乾燥させます。



塗料の密着力をあげる
為にサンドペーパ掛け
は必ず行いましょう。

古い塗膜・サビの除去



古い塗膜がはがれかけていたり、サビが発生している所は皮スキやワイヤーブラシで充分落とし、全体にサンドペーパーをかけます。塗膜・サビを落とした後の粉を布(ウエス)で拭き取ります。

2 養生(マスキング)



マスキング
テープは塗
料が完全に

乾燥する前に塗膜がめくれ上がり
ないようにゆっくりはがします。

塗ってはいけない部分や境目をマスキングテープやポリマスカーラでカバーします。マスキングは「きわ」をしっかりと押さえ、塗料の侵入をしっかりと防ぎましょう。

塗料をかき混ぜる



塗料は、そのまま使うと顔料が
塗料の底に沈んでいますので、
使用前に充分かき混ぜます。

塗料の粘度があがり、ネバネバして塗りにくい時には、
水性なら水、油性ならペイントラスム液を、塗料に対し、
5%ぐらいまで加え、よくかき混ぜてから使います。



スマート
ペイント

カンペハピオホームページ
<http://www.kanpe.co.jp>

カンペハピオお客様相談室
ナビダイヤル有料 0570-001167 受付時間:8:30~17:00
(土・日・祝日は除く)

1度に厚塗りで仕上げるより、
2度に分けて薄めに塗りましょう。

塗り重ねの方がムラなく美しい仕上がりになります。
1回目が充分乾燥してから2回目を塗りましょう。

4 上塗り塗料を塗る



まず最初に、細かい塗りに
くい部分を刷毛で塗ります。
サビ止め塗料を塗った部
分もしっかりと上塗りします。
塗る塗料にあった種類、塗
る部分にあったサイズの
刷毛を選びましょう。

Point

1度に厚塗りで仕上げるより、
2度に分けて薄めに塗りましょう。

塗り重ねの方がムラなく美しい仕上がりになります。
1回目が充分乾燥してから2回目を塗りましょう。

ALES CO

関西ペイントグループ
株式会社 カンペハピオ



スマート
ペイント
Smart paint
スマホ見ながらスイスイ塗装!
塗装方法が動画で見る スマートフォン専用サイト
QRコードを読み取って
サイトをチェック!
ORコードが読み取れない場合は URLを直接入力してください ▶ <http://shop.kanpe.jp/m/>